

沖縄県医師会の取組み うりずんフェスタ事業報告



沖縄県の健康課題と背景

- ① かつて長寿県と呼ばれた沖縄県ですが、近年、健康指標の悪化が課題となっている。
 - － 平均寿命（2020年 厚労省）
男性：43位／女性：16位
 - － 健康寿命（2022年 厚労省）
男性：45位／女性：46位
 - － 職場の定期健康診断有所見率：70.7%(2025年労働局)
- ② 特に、本県の特徴として働き盛り世代を中心とした65歳未満の健康状態や死亡率の悪化が課題となっている。
この現状を打開するため、沖縄県医師会では平成29年に「65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト」をスタートさせ、本プロジェクトの一環として「うりずんフェスタ」を開催している。

うりずんフェスタ

- ・ うりずんフェスタは、沖縄県医師会が主催し、沖縄県が共催するイベントである。
- ・ イベントの目的は、主に働き盛り世代である65歳未満の県民（特に30-64歳）の世代を主なターゲットとし、県民の健康意識の向上と生活習慣の改善を目的に開催している。また、回を重ねるごとに参加者も増え、県民の関心も高いイベントとして定着している。
- ・ 第5回うりずんフェスタは、出店数・企画内容ともに過去最大規模で実施した。今回の当フェスタの主な特徴は以下の3点である。

①家族で楽しみながら健康を学べる体験型イベントの拡充

子どもたちが実際に医療を体験できる手術体験クラスや、看護・教育と連携した「こども縁日」など、将来の健康づくりや医療への関心につながる体験型企画を充実させた。

②新しい健康課題への対応

更年期ケア、がん教育、慢性腎臓病対策、食生活改善など、現代社会において「生活」「仕事」「家庭」と密接に関わる様々な健康課題をテーマとした企画を実施した。

③医療・企業・団体と連携した社会全体で健康を支える取り組み

医療界と企業のコラボした食の提案や、災害時にも活用できる電気自動車の展示など、健康と生活、防災を結ぶ企画を実施した。

3/6

うりずんフェスタ 開催概要①

日時: 令和8年3月20日（金・祝）10:00-16:00

場所: 沖縄県医師会館（屋外・屋内全エリア）

参加者数: 2,655人

過去の開催実績：第1回 1,756人(平成29年4月)
第2回 2,383人(平成31年3月)
第3回 2,741人(令和 6年3月)
第4回 3,471人(令和 7年2月)



4/6

うりずんフェスタ 開催概要②

- 幅広い層に関心を持っていただく為、多彩なプログラムを用意した。
- ①グルメ・ライフスタイル
高い集客力を持つ飲食店や、豊かなライフスタイルを提案する店舗など、45店舗が出店し「食」を入口に、多くの県民が気軽に参加できるイベントを展開した。
- ②音楽とエンターテインメント
アクターズスクールによるダンスパフォーマンス
カラフルコーラスによる合唱
バネ人間(YouTuber)によるジャンプパフォーマンス
FECオフィス(お笑い)とのコラボレーションなど
- ③ 参加・体験型健康プログラム
会場各所に健康ブースを設置し、楽しみながら健康について学べる体験を提供した。(血圧測定・食育SATシステム・お薬相談・ピンクリボン啓発など)
- ④ スタンプラリー
健康ブースへの参加を促すため、血圧測定を必須とした、体験型プログラムのスタンプラリーを実施した。

5/6

まとめ

- 第5回うりずんフェスタは2,655人が来場者し、その内770人に血圧測定を実施した。
- 血圧測定を実施した770人の内訳は、基準値が604人、Ⅰ度高血圧が114人、Ⅱ度高血圧が43人、Ⅲ度高血圧が9人であった。Ⅱ度以上の高血圧の値を示した参加者に対しては、保健指導を行うとともに医療機関への受診勧奨を実施した。
- 本イベントを通じて、医師会は県民にとってより身近な存在で寄り添う存在として信頼と親近感を高めることができた。
今後も、「健康にあまり関心のなかった方が、自身の健康について考えるきっかけ」となるイベントを目指し、継続的に開催することによって、県民のヘルスリテラシー向上に繋げていきたい。

6/6